

項目	1段階		2段階		3段階		小学校・小学部との関連	中学部への接続	
	指導内容	大切(ポイント)	指導内容	大切(ポイント)	指導内容	大切(ポイント)			
<p>幼児期の終わりまでに育ってほしい姿</p> <p>健康な心と体</p> <p>自立心</p> <p>協同性</p> <p>道徳性・規範意識の芽生え</p> <p>社会生活との関わり</p> <p>思考力の芽生え</p> <p>自然との関わり・生命尊重</p> <p>数量や図形・構成や文字などへの関心・感覚</p> <p>言葉による伝え合い</p> <p>豊かな感性と表現</p>	<p>ア 基本的な生活習慣</p> <p>イ 安全</p> <p>ウ 日課・予定</p> <p>エ 遊び</p> <p>オ 人の関わり</p> <p>カ 役割</p> <p>キ 手伝い・仕事</p>	食事	食事の手洗いや配膳、食後の片付け	食事の流れや基本的な行動の方法に気付くこと	食事中は立ち歩かない、こぼさず食べるなど、食事のマナーや態度について分かるようになること		一人て食事することともに、準備や片付けなど、一連の活動を友達と協力して行うこと	生活	
		用便	原意や便意を伝えようとする 用便の手順に沿って用を足す 用後は手を洗う	用便の手順に気付く、教師と一緒にに行おうとしたり、伝えようとしたりすること	男女の便所を区別する、鍵をかけることなど、一連の流れと共に基本的な方法や態度を身に付けること	トイレにおけるいろいろな種類の鍵の使用法を知る、援助がなくても自分で用を足すことができること			トイレにおけるいろいろな種類の鍵の使用法を知る、援助がなくても自分で用を足すことができること
		寝起き		一人で就寝することに不安をもたないように、着替えを援助するなどして、気持ちをリラックスできるように配慮すること	定時に寝起きする、起床の準備や片付けをすることなどの規則正しい生活を意識すること				自分で寝床を準備したり片付けたりするなど、一人でできることを増やすこと
		清潔		洗面や歯磨きをする、タオルで拭くこと	汚れた衣服を着替えるなどの身体各部や衣服の汚れが理解できること				簡単な洗濯をする、入浴時に身体各部の洗い方やふき方が分かるなど、自分から清潔を意識して活動に取り組むこと
		身の回りの整理		持ち物の整理、自分の衣服や靴など自分の使った物の整理や、決められた場所に置くことに気付くこと	ハンガーに掛けるなどの整理の仕方や収納場所や収納の方法などが分かること				靴や衣服などの整理をすることや、かばんや文具などの収納場所や収納方法が分かり整理整頓を行うこと
		身なり		簡単な衣服の着脱や、長靴等の身に付け方に気付くこと	衣服の前後や裏表が分かる、着脱後の簡単な確認をすること、身なりについて自分で気付くこと				そで口や襟もと、すそを整えるなどの身だしなみを整えようとする
		危険防止	危険な場所について知る 身の回りにある小さな玩具や硬貨などを決めて口に入れない 階段や段差などに注意して歩く	自分の身を守る適切な行動に気付くこと	安全な遊び方や道具・器具の使い方をすることなど、身近な生活の安全に関心をもつこと				自分で気を付けながら、安全に器具等を扱う、危険な場所や状況を知らせ自分から回避するなど、適切な対応ができること
		交通安全	信号や標識に従う 道路を横断する	教師と一緒に体験し、安全に通行しようとする	自動車や自転車などに気を付ける、歩行者用の信号や踏切の警報器の意を知るなど、安全な歩行の仕方が分かる、安全への習慣を身に付けること	左右を確認して渡る 標識を理解する			指導内容を正しく身に付け、自分で気を付けながら安全に過ごせること 教師の指示を適切に理解し、適切な行動の必要性が分かること
		避難訓練	教師と一緒に避難する 指示に従って避難する	教師と手を繋いだりして、適切な行動ができること					
		防災	災害や事故について知る 地域の施設設備について知る	教師と一緒に活動することで、危険な場所などがあることに気付くこと	危険な場所に気付く 身近にある安全な場所を知る	土砂崩れや河川の増水、地震や火事などの災害に気付く その場の状況をとらえて行動できることや、地域の避難場所が分かる移動するなど、安全な場所や人々の獲し方を身に付ける			緊急時に適切な行動がとれるように、日頃から安全や防災についての意識を高めていくこと
		日課		教師と同じような行動を教師からの言葉掛けを聞いたり、手をとってもらったりしながら、それらに従って一緒に行動することにより、簡単な日課に気付く、行動しようとする	日課・予定	教師の言葉掛けを聞いたり、次の行動を絵や写真で示したカード等を見たりして、次に何をやるのが分かる、できるだけ一人で日課に沿って行動できること 下校後は何をするのか、また、明日の予定などを取り換うこと、児童が身辺予定が分かる、見直しも通って過ごすことができるようになること	日課・予定		一週間程度の予定が分かる、カレンダーや予定表を見て学校行事や家庭の予定などに従って行動すること 都合により予定が変更する場合に対応できること
		いろいろな遊び	自分の好きな遊びをする 教師とごっこ遊びをする	教師の働き掛けを受け入れ、まねをするなどして遊んだり、安定した気持ちで十分に身体を動かして遊んだりすること	教師や友達と、鬼ごっこなどの簡単なルールのある遊びをする	遊びの場や道具を友達と共有したり、簡単なルールのある遊びを一緒にしたりすることにより、関わりを広げていくこと			順番を守ったり交代をしたりするなどの約束や、勝ち負け、役割などが分かること 友達と一緒にルールのある遊びを楽しむこと
道具の使い方	道具を使って遊ぶ 教師と一緒に道具を片付ける 自分から片付ける	準備から後片付けまでを一連の活動として捉えて指導すること(生活態度を育てる上で大切)	大きく身体活動ができる道具を活用した遊びをする 自分で使った道具を片付ける 友達と一緒に大きな物を協力しながら運び収納できる			収納方法や収集場所が分かる、自分から進んで道具を片付けること			
自分自身と家族	自分自身や家族の分かる 簡単な紹介をする 担任教師や友達、親戚、隣人などの名前を覚えたり、挨拶をしたりする	例えば、自分の名前を呼ばれたときに身振り、表情、拳手や発声などにより返答すること 担任教師や友達、親戚、隣人などの名前を覚えたり、挨拶をしたりすること この段階では、表情、身振り、動作、絵カードなどの多様な方法により、活発なコミュニケーションを行おうとすることやお辞儀をしたり、手を握ったり、握手したりして挨拶すること	家族の名前が分かり紹介したり、家族の名前を尋ねられたときに応じたりすること 担任教師や友達の名前を言ったり、自分から「おはようございます」、「さようなら」などの挨拶をしたりすること 教師等に見聞したことや遊んだことを話すこと			自分自身や家族について、仕事や兄弟姉妹関係などにも触れて簡単に話したり、紹介したりすること 簡単な日常の挨拶や、見聞したことや遊んだことを教師や友達と話し合うこと 学校の出来事を家庭等で話したり、家庭等での会話を学校で話したりすること			
電話や来客の取次ぎ	電話の取次ぎや来客への対応を適切に行う	人の来訪や電話がかかってくることに気付く、関心をもつこと	人の来訪を伝えたり、電話の取次ぎをしたりすること 初歩的な伝言の経験を通し、慣れを身に重ねること			電話や来客時には「はい、〇〇です」、「令替わります」、「〇〇先生、電話です」、「〇〇先生にお客様です」などを言って、適切に取次ぎをすること 校内に設置してある電話を活用し、児童が率先して取り次ぐことができること			
気持ちを伝える対応	気持ちを伝える言葉があるが分かり、自分なりに表現する それらを含めた挨拶などを習慣にする	それぞれの場面に促して教師に促され「ありがとう」や「ごめんなさい」などの気持ちを表現する それらを含めた挨拶などを習慣にする	適切な場面で「ありがとう」や「ごめんなさい」などをできるだけ言葉で言うこと			多くの人々と接するようになったときに、御礼や謝罪などの気持ちを相手に理解してもらえよう、気持ちをこめて伝えること			
集団の参加や集団内での役割	集団の中で自分の役割を果たす	児童が学級・学年・異年齢集団など、人数や年齢幅が異なる集団に参加し、友達を知り、一緒に活動する経験を通して、集団の中で活動することに慣れること	集団活動で簡単な係活動を果たすこと			児童が積極的に様々な集団活動に参加し、活動の準備や活動における役割を主体的に果たしていくこと 特に、集団活動では、様々な役割があることを知り、他の係を意識しながら活動の見直しを促して、自分の役割を果たすこと			
地域の行事への参加	地域の行事に参加する そこで自分の役割を果たす 地域の行事を楽しむ	(学校外の集団活動に参加する際には、特に、安全に留意したり、無理のない参加を心掛けたらなければならない)	地域の行事に参加し、簡単な買い物をしたり、地域の人たちと一緒に活動したりすること			友達と一緒に行事に参加し、主体的に地域の行事の催物などを楽しんだり、地域の人たちと協力して、行事の準備や後片付けをしたりすること			
共同での作業と役割分担	簡単な作業を共同で行う 作業において分担された個人の役割を果たす	楽しい雰囲気の中で共同作業ができるよう配慮すること	友達と一緒に作業に取り組む際には互いに協力して楽しく作業に取り組めること 様々な集団の中で簡単な役割を果たしたり、友達と協力して活動や作業に取り組んだりすることにより、周囲から感謝される経験を通して、役割を果たすことへの意欲を高めていくこと			作業分担や役割が分かり、自分から取り組んだり、役割を果たしたりすること 個々の児童の力が発揮できるように、繰り返し活動に取り組める作業の機会などを用意していくこと			
手伝い	物を配ったり届けたりする 伝言を届ける 作業を手伝う	手伝いの意味が十分に理解できない児童にとっても、徐々に手伝うことの喜びが味わえること	できるだけ自分で、印刷物を配ることや教室へ教材の運搬の手伝いをする 簡単な道具や器具を教師と一緒に使用して、作業の手伝いをする その際、安全に留意することともに、個々の児童に応じた手伝いを設定し、手伝いをすることへの意欲がもてること			児童が様々な活動の手伝いをする際、担任以外の教師とも連絡を取り合い、適切な指導が行われるよう、協力を心掛けておくこと 道具や器具に慣れることともに、それらを大切に扱いながら安全に仕事の手伝いをする			
整理整頓	自分の所持品の整理をする 友達や学級の物の整理をする 不要物の選別と不要物を捨てる	自他の学習用具等の区別ができるようにし、個々の児童が、自分のロッカーやかばんなどに用具を収納できること	できるだけ自分で机やロッカーなどの中を整理すること 友達が使った物や学級の備品についても整理すること			自分の所持品だけでなく、友達が使った物や学級の備品の整理を行うこと、その際には、整理整頓された教室等の気持ちよさが実感できるような工夫が大切			
戸締まり	窓や扉の開閉をしながらその意味を知る 教室等に鍵を掛けたり、開けたりする 自分で判断し、窓の開閉や鍵の開け閉めをする	扉や窓の開閉を繰り返しながら、扉や窓の開閉に慣れること	扉や窓の開閉と同時に施錠方法を知り、どのようなときに開け、どのようなときに閉めるのかを理解すること			窓の開閉や鍵の開け閉めが、いつ、どのようなときに必要なのかを理解すること 児童に開閉の意味やタイミングなどを話しながら、手伝い機会を日常的につけて習慣化する			
掃除	自分の出したごみを拾う 身の回りにあるごみを拾って捨てる 掃除道具を使って簡単な掃除をする 任された場所の掃除をする	児童がけがをしないように安全に留意することともに、大きなごみをごみ箱に入れるような簡単なことを習慣にしておくこと	掃除用具の名称や使い方が分かる、できるだけ一人で、簡単な掃除をすること			教室内の掃除に加え、分担された場所の掃除をすること、その際には、それぞれの場所に適した掃除の方法や手順、用具の使い方を身に付けること			
後片付け	手伝いや仕事が終わったら、道具や材料などの片付けを行う 仕事が終わったらを教師に報告する	自分が使用した道具等を選ぶなど、徐々に慣れること	使用した道具の片付けをすること、その際には、友達からの言葉掛けでも片付けができるよう配慮すること、友達と協力しながら片付けることについて配慮すること			手伝いや仕事の終了時に報告をしたり、自分から所定の場所に道具等を片付けたりすること、その際には、片付けをすることは、集団生活における大切なルールであることに気付くこと			



		1段階		2段階		3段階		小学校・小学部との関連	小学部への接続
		指導内容	大切(ポイント)	指導内容	大切(ポイント)	指導内容	大切(ポイント)		
健康な心と体 自立心 協調性 道徳性・規範意識の芽生え 社会生活との関わり 思考力の芽生え 自然との関わり・生命尊重 数量や図形・標識や文字などへの関心・感覚 言葉による伝え合い 豊かな感性と表現	生活や家庭に関する内容 ケ 金銭の扱い ケ きまり	金銭を大切に扱う 代金を支払う 硬貨や紙幣の種類を知る 種類ごとに分類したり数えたりする 金銭を無駄遣いしない もらった金銭を保管する 金銭の違いを考える 違い道に従って違う	簡単な買い物をするなどして、金銭を取り扱う方法を知ること	児童が実際に金銭を支払い、金銭の価値を徐々に理解すること	児童が実際に金銭を支払い、金銭の価値を徐々に理解すること	日常生活では、金銭が必要なことが分かり、金銭の種類ごとに分類して数えたり、必要に応じて両替をしたりすることに慣れること	日常生活では、金銭が必要なことが分かり、金銭の種類ごとに分類して数えたり、必要に応じて両替をしたりすることに慣れること	生活・算数(小学校・小学部)	生活・算数(小学校・小学部) 生活・算数(小学校・小学部) 生活・算数(小学校・小学部)
		買う物 買う物を知る 決まった額の買い物をする 目的に合う買い物をする	品物を選んでレジまで持っていく、店の人に金銭を渡す、品物を袋に入れるなどの体験をすること	お年玉やお小遣いなど、自分の金銭を財布や貯金箱に大切に保管することやその使い方をすること	できるだけ自分で買い物をすること 「これ、ください」など、買い物に必要な言葉を使うこと 決まった額の買い物をすること 商店などで品物を選んで買うこと	自分で目的に応じた買い物をすること 「幾らですか」、「〇個ください」などの買い物に必要な言葉を使うこと 簡単なおつりのある買い物をすること 値札を見て買い物をすること 商店などでレジの場所が分かる、代金を支払うこと			
		自動販売機等の利用 教師と一緒に自動販売機を使う 身近にある自動販売機の種類を知り利用する	自動販売機に金銭を入れ、商品を選んでボタンを押し、品物を取り出すことに慣れること	できるだけ一人で自動販売機に金銭を入れ、商品を選んでボタンを押し、品物を取り出すことで、およその使い方を知り、徐々に一人で操作できること		簡単な自動販売機などを自分で利用すること			
		自分の物と他人の物の区別 他人の物を無断で持ち出さない 他人に借りた物は必ず返す	自分の物を区別すること、その際、自分の物の区別が付くよう、持ち物や道具に色や模様を付いたシールをはったり、記号や名前を付けたりするなどの配慮が大切。	他人の物や学校の物を無断で持ち出さないこと		物を適切な方法で貸し借りすること 落としたり物を拾ったときは、教師に届けたり、持ち主を探して手渡したりすること			
		学校のきまり 学校生活におけるきまりを知って守る きまりの意義を知り、自発的にきまりを守る	教師からの言葉掛けや様々な合図などを聞いて、学校生活の簡単なきまりを行動しながら守ること。例えば、決まった場所を履き替えることや、廊下は静かに歩くこと。 例えば、道路を歩くときや横断歩道を渡るなど、乗り物や公共施設を利用するときなど、きまりを守って行動すること	学校生活では、廊下の右側通行、靴を履き替える場所、登校時刻や下校時刻など様々なきまりがあることに気付くことともに、それを守ること		必要に応じて簡単なきまりを相談してつくること			
		日常生活のきまり きまりを守りながら進んで施設等を利用する		信号を守って横断する		公園や図書館などの公共施設や、電車やバスなどの公共機関を利用する際のきまりを守る 例えば、校内や通学路などに設けられている火災報知機や消火器等の非常用設備について、それぞれの役割を理解することや普段はそれらに触れないこと、非常時における使用方法について、およそを理解できるように指導すること			
		家族・親戚、近所の人 家族や親戚の様子に関心をもつ 身近な地域に興味や関心をもち、自分との関わりに気付く、それらの働きを知る	自分の父母、兄弟姉妹、祖父母が分かる、家族と気持ちを安定させて生活すること 隣近所の人などに関心をもつこと	家族がそれぞれ役割をもっていることに気付くこと		バスや電車、病院や図書館などでは静かに行動したり過ごしたりするなど、公共の場でのマナーについて指導するとともに、その理由も分かり実際にマナーを守ること 家族や親戚、近所の人々の名前を言ったり、家族の職業や身近に見られる職業が分かるとのこと			
		学校 学校で働く人に関心をもつ 学校の先生や保健の先生など、自分に身近な先生が分かる、気持ちを安定させて生活すること	校内探検などを通して、自分の学級や音楽室、図書室などに関心をもち、その場所や名称を知ること 担任の先生や保健の先生など、自分に身近な先生が分かる、気持ちを安定させて生活すること	学校にある教室の名称や主な用途が分かる		学校で働く人と自分との関わりに気付く、それらの働きを知る。例えば、学校で働く人の職業名と果たしているおよその役割が分かること			
		いろいろな店 店の種類が分かる 店の名前を言う それぞれの店で売っている品物が分かる	近隣や通学路にある店に関心をもつこと	教師と一緒に買い物に行き、いろいろな種類の店やそこで販売している商品に関心をもつこと		いろいろな店の種類が分かる、それぞれの店の名称やそこで扱っている商品の名前が言えること、この段階では、商品はどこで生産されたのか、どこから運ばれたのかなどを調べ、工場や農家などへの関心を高めることも大切			
		社会の様子 自分が住んでいる地域の自然や街の様子の特徴が分かる 自分の住んでいる地域の名称、住所が分かる 地域や社会の出来事に興味や関心をもつ	自分が住む近所には商店、公園、学校、駅などがあることに気付く、それらに関心をもつこと	自分が住む町の公共施設やいろいろな商店、河川や川、公園などの様子に関心をもち、およその名称などを知るとともに、自分の生活との関連について知る		自分の住む地域や隣接する市町村の名称が分かること 自分が住んでいる地域や周辺の地域の田畑、大きな河川、港湾、商業地や工業地、住宅地などのおよそが分かること 地域で見られる産業にも関心を深め、その働きを知る テレビや新聞、インターネット等で身近な社会の出来事を知り、関心をもつとともに、国民の祝日に関しても、そのおよその意味を分ること			
公共施設の利用 公共施設の名前を言う 公共施設の場所が分かる 公共施設の役割が分かる	図書室、体育館、児童館などの身近な公共施設を安全に利用しながら、その役割に気付くようにすること	図書室、体育館、児童館などの身近な公共施設を適切に利用し、そのおよその働きが分かること		警察署、消防署などを実際に訪問したり、見学したりして、社会の一員としての利用の仕方を知るとともに、およその仕事の様子が分かること					
交通機関の利用 交通機関の名称や利用方法を知る 目的地まで行くための交通機関を知る	電車やバスなどを利用し、乗降時には、様々な方法で料金を支払うなどを体験すること	電車やバスなどを利用し、切符を購入したり料金を支払ったりすることに慣れる いろいろな交通機関があることを知ること		日常的に利用している電車やバスなどの切符を自動券売機などで買うこと 電車やバスを一人で利用して通学に慣れたり、目的地までそれらを利用して行き来すること 交通機関が運送した際の対応方法や校外学習時の目的地までの交通機関を知ること 基本の家、落ち葉などを集めたり、形や色などの特徴をつかんだり、種物の変化を促したりすること 自然の事象として天候の変化などについて学習すること					
自然との触れ合い 身近な自然の中で遊ぶ 自然を利用した遊びをする 校外学習などの際に自然に親しむ	公園、川、野山、海などで楽しく遊び、自然の事物や事象に触れ、生き物などに興味や関心をもつこと	自然の事物や事象に触れ、自然がその姿を変えることが分かったり、動物の動きなどに興味をもつこと							
動物の飼育・植物の栽培 世話をしたり、育てたりして、成長や変化に気付く	飼育している身近な動物や栽培している植物に興味をもつこと	小動物を飼育し、生き物への興味や関心をもつこと、飼育動物のために、校庭の草を刈ったり、給食室に野菜くずをもらいに行ったりすることなども、自分で育てるという実感をもち上げて大切		身近にいる昆虫、魚、小鳥の飼育や草花などを栽培しながら関心を深めること 動物を飼育する場合は外敵の防止や気温の変化などに十分配慮し、飼育環境を整えること 植物を栽培する場合は、発芽、開花、結実といった一連の成長の様子が分かるような種類を選び、長期にわたる観察を行うこと 過湿・除草したり、肥料を施したりすること 天気予報や台風などの情報に関心をもつこと、太陽の出没の方向や月の満ち欠けなどを観察すること 四季の変化に関心をもつこと 季節と行事の関係に関心をもつこと					
季節の変化と生活 天気や空の様子に関心をもつ 四季の特徴や天気の変化に気付く 地域の行事と季節の関係について知る	晴れや雨などの天候の変化に気付くこと	天候の変化や、太陽、月、星など昼夜との関わりに関心をもつこと 冬は寒く夏は暑いなどの季節の特徴に関心をもつこと							
物と重さ 物には重いものと軽いものがあることに気付く 物の重さに関心をもつ 物の重さに関心をもつ	物の重さに関心をもつこと。例えば、容器に入れた水の量の違いにより、「重い・軽い」という感覚を経験することなど、児童が「重い・軽い」を視覚的に分かるよう工夫すること	物には重いものと軽いものがあることに気付くこと 物には重いものと軽いものがあることに気付くこと。例えば、天秤、ばね秤、台秤といった道具を活用することで、児童が「重い・軽い」を視覚的に分かるよう工夫すること							
風やゴムの力の動き 風やゴムの力によって物が動く様子に関心をもつ 風やゴムの力によって物が動く様子に関心をもつ 風やゴムの力によって物が動く様子に関心をもつ 風やゴムの力によって物が動く様子に関心をもつ	風やゴムの力によって物が動く様子に関心をもつこと。例えば、色紙や色テープを使って風によって起こる空気の流れを視覚化するなど、児童が風やゴムの動きに着目できるよう工夫すること	風やゴムの力、物を動かすことができることに気付くこと。例えば、色紙や色テープを使って風によって起こる空気の流れを視覚化するなど、児童が風やゴムの動きに着目できるよう工夫すること		風やゴムの大きさを調べること 風やゴムの大きさを調べること、物が動く様子も変わることに関心をもつこと。例えば、ウィンドカーといった風の力を利用したおもちゃづくりなどが挙げられる。					